

若草会活動を振り返って

若草会活動の振り返り

副会長 佐藤 富子

ありがとうございます若草会（退職者の会）

副会長 野口 久美子

編集後記

本会は会員八十五名で発足し、地域住民の健康の保持増進を柱として、主治医の必要性、医療保険制度に関する理解や認識を深めてもらうための助言・周知等、さらには市町村で催される健康相談事業や介護予防事業等への参画など、本会の活動は地域住民から大変歓迎され感謝されました。これもひとえに会員の皆様がこれまで培った豊富な知識と経験の賜物であります。また、それぞれの在宅保健師の活動に目を向けますと、地域における集団、個別、事業所等と、その健康支援活動の範囲は幅広く、市町村の健康づくり事業、福祉事業への貢献は最たるものであり、また地区の特性や生活の実態を深く把握した地道な活動姿勢は、多くの人に喜ばれ、地域での健康づくりへの関心の高さを肌で感じることもできました。

在宅等保健師若草会としての活動は令和四年度で終わりますが、皆様には新たなステージで地域住民への健康づくり活動にご活躍されることを期待しますとともに、今後の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、最後の編集後記といたします。（事務局）

◆連絡先（福岡県在宅等保健師若草会事務局）
 福岡県国民健康保険団体連合会
 事業部 事業振興課 保健事業係
 TEL：092-642-7810 FAX：092-642-7853
 E-mail：hokenjigyo@kokuhoren-fukuoka.jp

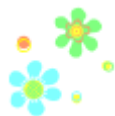
若草会会報

会員の高齢化、会員の減少等諸事情により若草会は解散の運びとなりました。発足時は国保中央会、国保連合会の補助金もあり様々な事業を実施していました。

国保被保険者の訪問事業、道の駅の健康相談事業、市町村の健康相談事業の支援、県・市町村の健康祭り時の健康相談等々を実践しました。健康相談では初めて血圧測定される方もおられ、健康診断の必要性等の普及啓発に努めました。

また、近隣県の在宅保健師会との交流会や高齢者サロン等の先進地視察等を行い、地域の医療・保健・福祉の発展のために自分達に何ができるか協議しました。さらに、会員達の活動に必要な知識の習得のため、定期的に研修会を行い研鑽し、会員間の交流も図ってきました。会員の中には地域で独自に健康体操の会を開いたり、高齢者サロンを開設したり様々な活動を実践された方もいました。また、会員でNPOを立ち上げ地域の健康増進活動を支援しました。会員は昭和生まれのパワフルで実践力のある保健師が多く、様々な事業が展開できたと会員の皆様に深く感謝しています。お疲れさまでした。

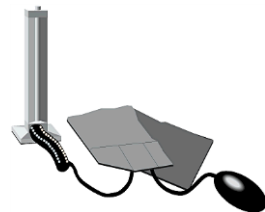
国保連合会・地域保健師協議会・関係者の皆様、長年ご支援・ご協力を頂きありがとうございます。



コロナ禍、私たちの生活は大きく変わりました。今まで当たり前に行っていた日々の出来事が、様々な制約の中で出来なくなりました。マスクは必需品となり、人々の表情を読み取ることが難しく、コミュニケーションの希薄さもひしひしと感じる今日この頃です。対面での保健指導を大切にしてきた昭和生まれの私たちは、各自自治体からの保健指導の依頼も減少し、また働き方改革の中、現状での若草会の継続が困難になり、今まで先輩たちが作り上げた歴史に終止符を打つことは大変残念なことですが、解散やむなしの結論に至りました。今まで事務局としてあらゆる方面からご尽力頂いた国保連合会の皆様に心より感謝申し上げます。

今後退職した専門職の方々のよりどころはなくなり寂しく思いますが、個人のネットワークを駆使して、繋がっていきたく考えます。今こそ高齢者パワーを発揮すべく、人生百年代の到来を大いに喜び、豊かに元気に楽しく生き延びたいものです。

出会った多くの方々のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。



若草会会報

最終号

発効日
 令和5年3月29日
 発行
 福岡県在宅等保健師若草会

ごあいさつ

福岡県在宅等保健師若草会

会長 松本 初子



福岡県在宅等保健師若草会
 解散に向けて

昭和三十年代に各市町村に保健師の配置が徐々に進められ、国民の健康増進への関心は深まり、保健師はそのことに関する普及啓発、相談等の対応に追われるようになりました。このような状況の中、市町村で勤務していた保健師等は、市町村の保健事業の支援の一端になれるように、平成五年、会員総合の親睦を図るとともに地域における保健活動に寄与することを目的として若草会を設置しました。

若草会初代会長には倉地レイ子様が就任し、その後小柳秀子様、佐藤富子様、そして、私が役割を担いました。

全国においては、平成十八年に、行政、医療機関等を退職した保健師（看護師、助産師、栄養士等）の知識等や経験を活かし、市町村の保健事業や地域の保健活動に寄与することとし、都道府県在宅保健師等全国連絡会が設置されました。

国保中央会主催の役員会や研修会が、平成二十三年に無くなり、会として、補助金の残金と会員の会費で運営していましたが、平成三十年には補助金の残金もなくなり、会の運営について会員へのアンケート調査を行い、会の運営について解散の意見も聞かれる一方、地域保健師研究協議会主催の研修会参加希望が六割を超えていました。

会員は平成二十六年から新規

の会員加入が無く、会員の高齢化、予算の減少等もあり、会の存続について協議しました。

平成三十年には「福岡県在宅等保健師若草会」の会則を「福岡県在宅等保健師若草会」と改め、会員資格を福岡県内在住で保健師として勤務した者から、福岡県内在住で保健師の資格を有する者と改正し、若い世代の会員を増やすことを目指した結果、その年には六名の加入がありました。

そのような状況の中、若草会活動は令和二年度から令和四年度まで全国的なコロナ禍で活動が殆どなくなり、令和四年、若草会事務局より、連合会の補助金交付の困難性や事業運営の課題により、若草会存続について提案があったことから、会員にアンケート調査を行いました。

○これまでの主な活動内容

年度	事業等
平成5年	若草会設立（会員数85名）
平成6年	実績報告調査開始
平成7年	在宅保健婦看護婦調査
平成10年度	長野県茅野市・諏訪中央病院へ視察
平成11年度	朝市健康相談開始・
平成12年度	会報発行開始・ねんりんピック従事開始
平成13年度	山口県在宅保健師活動視察
平成14年度	健康劇開始 兵庫県視察受入れ
平成15年度	10周年 鹿児島県視察受入れ
平成16年度	健康21世紀福岡県大会従事（～令和5年度）
平成21年度	認知症談話相談事業開始
平成22年度	九州ブロック在宅保健師等研修会
平成24年度	20周年記念式典開催

会員三十一名のうち二十五名が解散に同意、回答なしが六名という結果になり、幹事会ではアンケートの結果を受けて、解散するという方向で決定しました。この結果を受けて、若草会は今年度をもって解散することになりましたが、今後の会員の皆様のご健康とご活躍を、心より祈念いたします。



若草会会報

若草会活動記録

☆平成20年度 健康21世紀福岡県大会



朝市や、市町村の健康祭りイベント等の健康相談及び介護予防事業等に従事し、地域住民の健康づくりに寄与しました。



☆平成18年 立花町健康イベント



☆平成21年八女市健康相談事業



☆平成16年 編集会議

会報作成にあたり、企画から編集まで複数の会議を行い発行しました。



☆平成22年度 健康21世紀福岡県大会



☆平成20年度 総会及び研修会

総会に併せ研修会を開催し、情報共有や知識の向上に努めました。



☆平成22年 にぎにぎ体操研修会

呼吸に注意しながらゆっくりと真横に振ったり、全身の筋肉や骨を鍛える運動です。握力、腕力の強化となり、基礎代謝が増え、基礎体力が上がることも期待しました。



☆平成19年～平成21年 みやま市介護予防支援

若草会会員の経験を生かし、市町村の介護予防事業の支援を行いました。



☆令和元年 柳川市民健康まつり



大野城市の若い保健師が頑張っている姿に元気を頂きました。ありがとうございます。

十一月六日、大野城市すこやか交流プラザで開催された健康・食育フェスティバルに参加しました。若草会から松本会長、岩代さん、高田の三名で血圧測定と健康相談を行いました。

健康・食育フェスティバルに参加して
高田 昌子



健康21世紀 福岡県大会に参加して
久保 由美子